



アドビシステムズ株式会社と SAP ジャパンが、 SAP の業務システムの操作性向上と販売強化に向け協業

【2007 年 7 月 18 日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ギャレット イルグ（Garrett J. Ilg））と、SAP ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：ロバート・エンズリン）は、協業することで SAP® ERP（基幹業務システム）の日本における販売体制を強化すると発表しました。この協業により Adobe® PDF、Flash® テクノロジーの活用による SAP アプリケーションを中心とした業務システムの操作性の向上と、企業のビジネスユーザの生産性向上を目指します。

両社は、アドビシステムズ社が持つ PDF 技術を SAP のアプリケーションの入力画面として採用するためのソフトウェアを 2004 年より共同で開発・提供してきました。SAP® Interactive Forms by Adobe と呼ばれるこのソフトウェアは、アドビシステムズ社の Interactive Forms の技術を使い、SAP アプリケーションの入力画面を使い慣れた PDF 形式のフォームとして使うことで、ユーザの操作性を飛躍的に向上させます。SAP Interactive Forms by Adobe は、エンタープライズ・サービス指向アーキテクチャ（エンタープライズ SOA）を実現する基盤ソフトとなる SAP NetWeaver® の一部のコンポーネントとして提供されています。

今回、両社は協業の一環として、「アドビ・コンピテンスセンター」を設立しました。このセンターは SAP® Interactive Forms by Adobe のスキルを持つ両社の技術者およびプリセールス 12 名で構成され、SAP ジャパンの営業活動の支援と新たなビジネス機会の創出を促進します。このセンターを通じてアドビシステムズ株式会社は、SAP Interactive Forms by Adobe に関する技術情報の提供およびトレーニングを実施することで SAP ジャパンのコンサルタントおよびパートナー企業のスキル育成を図ります。この協業に伴い、新しい SAP Interactive Forms の技術トレーニングコースを 7 月初旬から開始しています。

また両社のお客様およびパートナー企業向けにセミナーやイベントを通じて共同マーケティング活動を実施します。SAP ジャパンが 2007 年 7 月 24 日に主催する「SAP BUSINESS SYMPOSIUM '07 - ビジネスの源泉、それは現場力」と題したお客様向けセミナーにアドビシステムズ株式会社が協賛する一方で、SAP ジャパンはアドビシステムズが 2007 年 11 月 1-2 日に開催する Adobe® MAX Japan イベントに協賛します。

■ SAP Interactive Forms by Adobe のコンサルティング、導入、販売の支援パートナーとしてご賛同いただいているのは、以下の 14 社です。（五十音順、敬称略）

- ・ アイ・ビー・エム ビジネスコンサルティング サービス株式会社
- ・ アクセンチュア株式会社
- ・ アビーム コンサルティング株式会社

- ・ 株式会社オデッセイ
- ・ コベルコシステム株式会社
- ・ 住商情報システム株式会社
- ・ TIS 株式会社
- ・ 株式会社テクノスジャパン
- ・ 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
- ・ 株式会社日本総研ソリューションズ
- ・ 日本電気株式会社
- ・ 株式会社日立製作所
- ・ 富士通株式会社
- ・ ベリングポイント株式会社

以上

■ SAP とアドビ システムズ社の協業体制について

SAP とアドビ システムズ社は、グローバルで 2002 年よりストラテジック・パートナーとしてソフトウェア開発、サポート、営業資源などにわたり包括的な協業を行っています。両社の協業によりお客様に下記のようなメリットを提供しています。

- － SAP アプリケーションで使えるリッチでインタラクティブな PDF フォーム（人事申請、請求書管理など）
- － SAP アプリケーション用の印刷フォーム（SAP ERP6.0 用に 900 フォーム）
- － SAP Visual Composer による Adobe® Flash® ベースの分析ダッシュボード
- －エンタープライズ SOA ベースの Adobe® Flex™を使って開発されたリッチインターネットアプリケーション
- －SAP ラーニングマネージャに統合された Adobe® Acrobat® Connect™ Professional ベースの Web 会議やトレーニング

■ SAP® Interactive Forms by Adobe について

多くの企業では業務の効率を上げるため、HTML ベースの電子申請を導入していますが、罫線などのレイアウト上の制約や、印刷の難しさ、オフライン作業の煩雑さなどの欠点を抱えています。SAP® Interactive Forms by Adobe を利用すれば、企業、組織で広く流通する、リッチでインタラクティブな PDF を書類の入力フォームとして導入しているため、SAP アプリケーションからのマスターデータの取得、更新後のデータ・ワークフロー連携が可能になります。これにより、SAP アプリケーションを導入されているお客様は、さらなるプロセスの効率化、自動化が可能になり、コスト削減やエンドユーザの利便性を向上させることができます。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。

SAP ジャパンについて

SAP ジャパンは、企業向けビジネス・ソフトウェアの分野において世界のリーディングカンパニーである SAP AG の日本法人として、1992 年に設立されました。SAP はイノベー

シジョンを促進しビジネスの変革を実現する SAP NetWeaver® を基盤として、統合基幹業務ソフト (ERP) をはじめ、サプライヤ・リレーションシップ・マネジメント (SRM) やサプライチェーン・マネジメント (SCM)、カスタマーリレーションズ管理 (CRM)、企業向けポータル (Enterprise Portal)、製品ライフサイクル管理 (PLM) などの構築を可能にするさまざまなソリューションを提供しています。すでに世界では 120 カ国、39,400 以上の企業で利用されており、企業内、および企業間のあらゆるビジネスプロセスの統合・効率化を達成しています。日本国内でもすでに 1,950 社以上の企業グループで利用され、日本企業の情報化の推進、国際競争力および企業価値の向上に貢献しています。(<http://www.sap.com/japan>)